

6/30 市内幼稚園、保育園に寄贈して8年目
市商工会よりテントの寄贈



宜野湾市商工会(長堂昌太郎会長)より、6月10日の「商工会の日」のPR事業として赤道あおぞら保育園、志真志まごころ保育園、慈愛幼稚園へテントの寄贈がありました。あおぞら保育園の谷畑園長は「子どもたちの運動会や日よけ等に使っていきます」と、まごころ保育園の高江洲園長は「日よけが欲しいと思っていたのでとてもありがたいです」と、慈愛幼稚園の谷成園長は「大切にさせていただきます」と感謝の気持ちを述べました。

6/30 市産品の優先活用と市内業者の優先発注
宜野湾市商工会が要請を行いました



宜野湾市商工会(長堂昌太郎会長)の関係者が市役所を訪れ、市産品奨励及び市内企業優先使用にかかる要請を行いました。本要請は毎年7月の県産品奨励月間に合わせて行われているもので、県産品や市産品の需要拡大を図り、経済の活性化を推進することを目的に展開される運動です。長堂会長は「宜野湾市は10年後20年後どう変わっていくのか想像しながら、会員それぞれが強くならなければいけないと感じています」と話しました。

7/1 そらとぶ ピカチュウプロジェクト
ポケふたを設置しました



ポケモンがデザインされたマンホール「ポケふた」が、ぎのわんトロピカルビーチに設置されました。「ポケふた」とは、株式会社ポケモンが全国各地に「ポケふた」を設置し、国内外から各地域へ来訪促進を目的とした取り組みとなっています。それぞれ世界に1枚しかないオリジナルデザインとなっており、トロピカルビーチに設置された「ポケふた」は、「サニーゴ」と「ラブカス」がぎのわんの海で楽しく泳ぐ姿がデザインされています。

7/2 犯罪のない明るい社会を目指して
社会を明るくする運動メッセージ伝達式



中部南保護区保護司会宜野湾支部(西津芳昭支部長)ならびに宜野湾市更生保護女性会(清水スミ子会長)より、菅総理大臣、玉城県知事、金城県教育長からの「社会を明るくする運動」のメッセージ伝達を受けました。本運動は、すべての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

7/6 温かいご支援ありがとうございます
JAおきなわの職員より生理用品の寄贈



市内JAおきなわ(7支店)の職員の皆様を代表し、桃原宜野湾支店支店長より、市教育委員会へ生理用品(ナプキン)12,000枚の寄贈がありました。我如古支店の玉城支店長代理は「新聞記事で生理の貧困という記事を見て、生理用品を買う余裕がない子どもたちがいる状況にショックを受けました。少しでもそういった子どもたちの生活が楽になればうれしく思います」と話しました。いただきました生理用品は市内4中学校へ配布を行いました。

7/6 温かいご寄附ありがとうございます
宜野湾市建設業者会より寄附金贈呈



市内建設業者41社にて組織される、宜野湾市建設業者会(東賢一会長)より新型コロナウイルス感染症対策に関する事業と、平和祈念像「原型」復活プロジェクトへ寄附金の贈呈がありました。東会長は「新型コロナウイルスの影響による厳しい状況の中、宜野湾市のお役に立てていただければと思います」と述べ、松川市長は「日頃より、インフラ整備など市の発展にご協力いただいておりますが、この度の多額の寄附に改めて感謝を申し上げます」と話しました。

6/1 1人1台のパソコンで変わる学校教育
GIGAスクールが始まりました



文部科学省の「GIGAスクール構想」では、小中学校の児童生徒1人に1台のパソコンと、学校に高速大容量の通信ネットワークを整備することで、多様な子どもたちに個別最適化された創造性を育む、教育ICT環境を実現するものとなっています。6月1日に、大山小学校(宮城信夫校長)でGIGAスクールオープニングセレモニーが行われました。知念教育長は「ワクワクしながら楽しく、学習ができるようになります」と挨拶しました。

6/1 少年少女空手道選手権大会
九州および全国大会へ出場を報告



上地流普天間道場に所属する成海悠真さん(普天間小6年)が松川市長を訪ね、5月に開催された沖縄県大会にて男子組手6年生の部で優勝し、「第7回全九州少年少女空手道選手権大会」および「第21回全日本少年少女空手道選手権大会」への出場を報告しました。成海さんは「県大会優勝は初めてでしたが、初めてだからと言って緊張しないで、九州や全国大会でいい結果を残して帰ってきたいと思います」と意気込みを話しました。

6/2 災害時に安心して避難ができるように
福祉避難所が新たに追加されました



大規模災害発生時に介護複合施設ふれあい愛知の丘と、介護総合施設ケアビレッジふれあい我如古を福祉避難所として活用できるよう、株式会社ふれあい介護センターと設置運営に関する協定書調印式を行いました。謝名堂健代表取締役は「地域社会への貢献が出来るの思いで、スタッフ一同大変うれしく思います。パリアフリーや消防設備も完備していますので、安心安全にご活用いただけたらと思っています」とあいさつしました。

6/29 温かいご寄附ありがとうございます
海邦造園より寄附金の贈呈



今年で設立30周年を迎える有限会社海邦造園(森根清昭代表取締役)より、普天間未来基金へ寄附金の贈呈がありました。あいさつを行った森根代表取締役は「これからも地域に根ざし、地域の役に立てる企業を目指し、地域社会へ貢献できる事業を続けていく所存です」と話しました。今年度はこれまで募った寄附金を活用し、マイクロバスの購入費の一部に充てる予定です。温かなご寄附いただき、ありがとうございます。

6/29 温かいご寄附ありがとうございます
宜野湾市技術支援コンサル会より寄附



宜野湾市技術支援コンサル会(東竹西広見会長)より、普天間未来基金へ寄附金が贈呈されました。東竹西会長は「宜野湾市の未来を担う人材育成に活用していただきたい。これからも素晴らしい宜野湾市ができるように、我々も一つ一つの行事にも参加して宜野湾市を盛り立てていきたいと思っています」と話しました。松川市長は「コロナ禍でも、ご寄附をいただけることはとても嬉しく思います。しっかりと活用させていただきます」と感謝しました。

6/30 今回で8回目の寄贈となります
アトムホームより食品の寄贈



株式会社アトムホーム(宮平克哉代表取締役)よりお米(3kg)150袋、ポーク缶詰150缶の寄贈がありました。宮平宗幸取締役専務は「『できる事をやっぺいごう』との弊社会長の想いから継続した支援を行っています。このような支援が沖縄から県外、日本から海外に繋がっていくことを願っています」と話しました。和田副市長は「夏休みの長い休みの前に、必要な世帯へ配布していきたいです。ありがとうございます」と感謝しました。